

みさかえの園だより

第23号 2019年2月

発行所

社会福祉法人 聖家族会

発行責任者 西村和子

編集 法人事務局

☎859-0167長崎県諫早市

小長井町遠竹2727-3

☎0957-34-4520

FAX 0957-34-4521

[年2回(8月/1月)発行]

「新春に思う」

社会福祉法人

聖家族会

理事長

西村 和子

二〇一九年新春のお喜びを申し上げます。

新しい年を迎えるという事は誰もが、嬉しさそして希望の心を持って迎えた事と思います。

そして今年こそはと決心を立てるのではないのでしょうか。毎年立てても実行できないから放棄するか、やはり何か目標を持つのと何も持たないのでは生活面、仕事の面でも違いがあるのではないのでしょうか。

みさかえの園の職員は、皆利用者に対して本当にやさしく懇切丁寧な職員です。愛に満ちて一人一人を大切にしている職員であると信じています。日本全体が少子高齢化ですから当然、施設利用者も高齢化があります。そして年々重度化して介護度

が高くなり、職場において時間的余裕がなくなり、職員間のつながり助け合いがどのようになってるのかなと思われまふ。

福祉施設で働く職員の減少、新しい職員が入ってきてても仕事についていけない、仲間に入れないなどがあるのではとも思う事が有ります。みさかえの園がみさかえの園らしさを持つているのは、職員同士の横のつながりがしつかりとある事だと思えます。皆が助け合い、つながっている事です。それによって利用者の方達へのサービスも充実することと思えます。

日本全体の人口減少により、外国人を雇わなければならぬ時代になってきています。同国の日本人さ

えつて行けないなら、外国人がどうして共に働いて行けるでしょうか。

もう外国人を受け入れなければならぬ時期が近づいてきています。其れこそ国境なき時代に入っております。顔の色、言葉、文化そして宗教

的な違いがあっても、同じ神様から創られた人間です。お金で買った、お金でこの人たちを受け入れるという労働商品のように感じられないよう、今から心の準備をしなければ、いつかその時が来たときに働かせるだけで人間性を見なくなったら大変な事です。まだみさかえの園には技能実習生などが入っていませんが、今からその事について前もって考えおかなければいけないと思います。

外国人技能実習生とは

技能実習生制度は「我が国で開発され培われた技能、技術又は知識開発途上国への移転を図り、その開発途上国等の経済発展を担う「人づくり」に協力する事を目的とする制度」と定義されています

「外国人の技能実習生の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」

第三条

技能実習生は、技能等の適正な修得、習熟または熟達のために整備され、かつ、技能実習生が技能実習に専念できるようにその保護を図る体

制が確立された環境で行わなければならない。

2. 技能実習生は、労働力の需給の調整の手段として行なわれてはならない。」

このような目的を果たせるように協力する事が出来ますように。何時この日が来るのか分りませんが、すでに採用している所もあります。技能実習でみさかえの園にいらした方が、日本で実習してよかったと喜びを持って帰国できるようになれたらと思います。

せつかく日本に夢と希望を持ってやってくる若者たちが失望又は不法滞在などがないようにと願っています。

まだみさかえの園には外国人実習生はいませんが、近隣に外国人労働者がいて、助けが必要な時に助けてあげられると良いですね。そして不当に扱われていても言葉が通じなかったり、自国でないので雇い人が怖かったりするのでそのような時にも日本人としてつながりが大切だと思います。日本の誰かとつながっていることにより免れる事の出来る悪もあると思います。

みさかえの園を利用されているご家族の方達も将来の事を考え見守っていただきたいと思います。

「ソファア」を ありがとうございました



この度「全日本自動車産業労働組合総連合会長崎地方協議会」様より三人掛けソファア一台、一人掛けソファア三台を寄贈していただきました。

利用者様も時代の波に乗って高齢化が進んでおり、足腰への負担も大きくなってきています。居室は以前のままなので畳の部屋ですが、身体への気配りと雰囲気明るくするために数年前からソファアを使用するようにになりました。また、皆さんでお祈りをしたり、余暇を過ごしたり、日中活動をする作業室のソファアも別の部屋で使用していたものを置い

第二めぐみの家

生活支援員 中村 裕子

ていたのですが、だいぶ古くなっていました。ソファアを気に入っている利用者様もいらっしゃるのですが、皆さんが座れるほどの数はないので今回の寄贈はとてありがたかったです。

色もデザインもこちらで自由に選ばせていただきました。今までとは違う色で、部屋もとても明るくなりました。

「自動車総連長崎地協」の事務局長、片岡様には大変お世話になり、本当にありがとうございました。感謝の気持ちをうまく言葉で言えない利用者様が多いですが、ゆったりと腰かけて笑顔でいる姿を見ると「気持ちいいよね、ありがとう」という利用者様の思いが伝わってきます。



新天地の施設づくり

あゆみの家

施設長 平松公三郎

皆様のご支援のもと、あゆみの家は二〇一八年八月に無事移転事業を終え、大村の新天地にて新しい年を迎えております。移転後は地域のニーズに沿った地域になくはならない施設づくりをめざし、次に示す新しい役割をこれまでの診療機能に加えて始動しています。

①医療度の高い重症児者の方々への入所対応、②短期入所事業の拡充、③発達障害ならびに障害外来診療（外来リハビリテーションを加えて）の拡充、④重症児者を対象とした多機能型通所事業ひばりの開設（二〇一九年四月開所予定）⑤重症児者も含めての医療的ケア児等への地域支援。

この一月からは副施設長として岡田雅彦先生も入職されています。障害をお持ちの利用者の方々の日々の生活が、施設でも、地域のなかでも、より豊かなものになるように、これらの諸事業をおして支援してまいりますと思います。みさかえの園の愛と奉仕の精神の理念のもとに職員一同これからも務めてまいりますので、よろしくお願い致します。

奉仕作業に感謝

第二めぐみの家

施設長 齋木 初江

先日「聖母の騎士高等学校」の一、二年生の方が、奉仕作業をしてくださいました。普段できない棟内や講堂の窓拭きをお願いしたが、気がつけば自分たちで施設内の窓を探して拭いて回っている。今の高校生とほとんど接することのない私にとっては、とても新鮮だった。

以前より「聖母の騎士高等学校」

私たちの施設がこれから果たすべき役割とは

むつみの家

施設長 福田 雅文

障害者権利条約、障害者差別解消法の制定により、障がいのある人が自分の育った地域の中で安心して暮らせる権利が法律で定められました。むつみの家に長年入所されている方やそのご家族は当時、利用できる

との交流はあっているが、今回来られた引率の先生になぜこの奉仕活動が始まったのか尋ねてみた。それは「コルベ神父様の奉仕の精神からきている」とおっしゃられた。コルベ

神父様はポーランド人のカトリック司祭で一九三〇年来崎され、この「聖母の騎士高等学校」の創立者である。最期は「アウシュビッツ強制収容所」で自ら進んで餓死刑を受けられた。「友のために命を捨てる、これ以上の大きな愛はない」というイエス様のことをば実行されたコル

サービスが何もなく時代であったので、施設入所を余儀なくされていました。しかし現在是在宅でのサービスが普及して、在宅医・訪問看護・訪問リハビリ・居宅介護など

多くのサービスを利用して、人工呼吸器を必要としても家族と一緒に地域で暮らせるようになりました。

これからは在宅生活をされている障がいのある方が安心して地域で暮らせるように支援し、入所されてい

ベ神父様だが、さて今を生きる自分は、自分の時間を他人のために喜んで差し出すことが出来ているか、と問われれば・・・

「聖母の騎士高等学校」は男子校である。そのため女性利用者様の目は、いつになく（？）輝いていたようである。生徒さんの代表の方が「貴重な経験をさせて頂きありがとうございます」と最後に挨拶をしてくださいました。「いえ、こちらこそありがとうございます」と今後の生徒さんたちの活躍を祈ってお別れをした。方にはここで暮らせて幸せだと言ってもらえるような施設になりたいと思っています。

障がいのある方が状況に合わせて在宅生活と施設での生活を組み合わせ、ご家族や地域と繋がって生活されているような支援の仕組みをつくることを目指したい。さらに施設での生活も重い障がいがあっても出来るだけ、グループホーム的な生活ができるように展開したい。

わくわくふれあいフェスタ

みんなで力を合わせた 秋の一大イベント

サテライトセンターは、平成二十七年十月、高来町泉地区で新しくスタートして三年が経ちました。地域で暮らす利用者様と一緒に地域交流を図り、地域の為に私達にできることは何かを考えています。

泉地区のいきいきサロンの方達との交流、サテライトセンター地域交流ホールを利用しての太極拳教室、キッズダンス教室の方達との交流、とどろき名水まつりへの参加、溝口バス停付近の清掃活動等を行っています。グループホーム入居の方は地区の清掃活動にも参加されています。

昨年までは、地域の一員として仲間に入れてくださった皆様への感謝の気持ちとサテライトセンターの創立を記念して「感謝祭」と題して地域の方をお招きしてイベントを実施してきました。今年は、イベントの意味合いを広げる為に「わくわくふれあいフェスタ」と名称を改めて十月十三日に開催しました。

今回は、体験コーナーを設け、ストラップ作り、シュシュ作り、傘袋でバルーン作りをしました。いきいきサロンの方達とバルーン飛ばしを競ったり、あれこれと作り

方や飛ばし方を工夫したりして交流している様子がとても印象的でした。

また、手話講座もあり、日常会話等の簡単な手話を教えてもらい、実際に体験しながら楽しく学ぶ機会となったようです。他にも恒例となった、かたつむりの家のお菓子販売、むつみ農園からのとれたてさつまいもの焼き芋コーナーは、お楽しみスポットとなっています。

昨年より、小長井中学校文化部の生徒の皆さんがボランティアとして参加して下さっており、体験コーナーのお手伝い等をして頂き交流の機会を持っています。

二階交流ホールでは、二胡とピアノのミニコンサートがあり初めて耳にする方が多かった二胡の音色とピアノのハーモニに心温まるひと時でした。



みさかえの園サテライトセンター

デイスパースあん

サービス管理責任者

中村 朝美

グループホームりん

生活支援員

古賀ゆかり

わくわくふれあいマーケット

十一月四日、秋晴れの日曜日、サテライトセンターを開放して、手作り作家さん方によるマーケットを開催しました。

初めての試みで、戸惑いも多くありましたが、地域の皆さんに広く知ってもらえる機会にすること、利用者の皆さんに新しい楽しみを提供すること等を目的に企画しました。

布小物、アクセサリ、洋服、皮製品、木工品、ハーバリウム体験、屋台、デイスベースあんのだるまの展覧があり、「まるでみさかえまつりみたいだね！」とキラキラした利用者さんや折込チラシを手に初めて来所して下さった地域の方、「次の開催は

いつですか？」と尋ねてくださる方もいて嬉しく思いました。また、むつみの家の病棟からも遊びに来て頂いたり、日頃利用して下さっている利用者さんご家族、お母さん同士のいいこの場になっていたり色々な形でご利用下さったことも喜びを感じました。

サテライトセンターは、障害を持った方が暮らす特別な場所ではなく、地域の一部となつて老若男女問わず、出会いを大切に新しい楽しみの場、支え、支えられることを感じられる場所となるように活動していきたいと思っています。

わくわくふれあいマーケット

みさかえの園サテライトセンター

2018.11.4 Sunday 10:00 ~ 16:00

でかけよう！

わくわくをギュッとつめこんだ温もりある手作り雑貨
かわいいもん、美味しいもんがいっぱいのマーケットへ！！

手しごと針しと展

わくわくショップ わくわくするものがきつと見つかるよ

Green Note アトリエapple Lin.50 書道art.narumi Faire.F

革小物、バッグ 大人服、布小物 大人服、布小物 おもてなしの書き下ろし、 アクセサリー、刺繍ブローチ



engravefarm* guli * guli NRS happy-house ディスベースあんの



わくわく体験 オリジナルアイテムを作ろうよ

- ・レザーネームタグ刻印打ち ¥500/1回
- ・消しゴムはんこdeオリジナルハンカチ ¥500/1回
- ・ハーバリウム ¥2000/1回



食欲の秋！！ 食飲の秋！！ 大豆加工食品 デザート、ソース・焼き鳥・焼きそば・ドリンク etc...

【会場】みさかえの園サテライトセンター

〒859-0121 諫早市高来町泉196番地1



【お問い合わせ先】

手しごと針しと展

Instagram kmk404550

担当 鍵本 (080) 1745 9949



「最高の選択肢」？

のぞみの家 施設長

小峰 静江

平成31年の新しい年を迎え、心を新たにしてい、のぞみの家の利用者様と神様のお恵みのうちに歩んで行きましょう・・・と決心はしたものの、毎日の慌ただしさに追われて、すでに新しい年という新鮮さは消えてしまいました。入所施設をめぐる状況は厳しくなり、地域に移行し、グループホームで生活することが利用者様にとって「最高の選択肢」などと言われたりしますと、施設での支援、援助に懸命になっている私どもには、どうしてですか？入所施設の中で、共同生活をし、一人では出来ないことも支援員の援助によって、安全な衣食住を確保出来ているのではないか、利用者様は施設での生活を楽しみながら、残された能力を最大限に使い毎日を送っているのにと、とても悔しく思ってしまうます。最重度の方でも、ボデイラインゲージを読み取る支援員の長年の経験によって、ご自分の希望を叶えることもあります。今年もまた神様のお恵みを祈り、マリア様にお守りを願いながら過ごしていきたいと思います。

施設間異動をして

みさかえの園のぞみの家 調理師

渡邊 秋子

あゆみの家が大村市内に新築・移転したことに伴い、あゆみの家の調理師として勤務しておりますが、昨年八月より通勤の関係でのぞみの家の厨房に異動を希望し働いております。毎日楽しく働かせていただいておりますが、まだまだ覚えることが多く、あゆみの家の重症心身障害者の方々とは少し異なったところがあり、食事形態も覚え

ることも多く大変です。のぞみの家の利用者様は、高齢の方が殆どで食事形態も多種多様なので、一人ひとりにあった形態にすること、とても手厚く行き届いたものになります。

厨房の方々から懇切丁寧に教えて頂き、一つ一つの仕事を心を込め、且つスムーズに出来るよう頑張っています。単調に見える毎日の食事が、利用者様の生命を支えているという事、そして生きる源であることを心に刻み、のぞみの家の厨房で今からみさかえの園の職員として新たな気持ちで職務を全うしていきたいと思います。



食事の前にはお祈りをしましょう



今日のメニューはなあに？

ワークスペースあん

私達の就労継続支援B型事業所は「働くところ」です。作業活動に参加して工賃を貰います。「働くとは」何でしょうか？生きるため。お金を貰って生活するため。夢へのステップ。やりがい。生きがい。達成感。安心感。充実感などなど様々な考え方があると思います。「ワークスペースあん」の就労支援方針は、仕事(働く・働きたい)を通じて「働く喜び」「生きがい」「達成感」を味わい豊かな生活を送れる様に支援するです。仕事と余暇活動のバランスを保ちながらモチベーションアップを図る事も大事な要素となります。

最後になりましたが年頭にあたり、今年もよろしくお願い致します。

<トピックス①> 新しい行事「お花見会」 4月



★育苗作業(野菜苗)の忙しい合間をぬって午前中は作業をし午後からお弁当を食べ近くのダムまで散策しました。

時期が遅かったので、桜吹雪の舞う中を歩き幻想的な世界観が味わえました。

<トピックス②> 新しい行事「カラオケ会」 9月



★利用者さんの大好きなカラオケ。「いこいの村」で部屋を貸し切り午後から行って来ました。

事前に1人2曲選んでましたが唄い足りなさそうでした。

更に可愛いバックダンサーたちが場を盛り上げていました。

最後に流行の「USA」も皆で歌って踊って息が上ってハア～

<トピックス③> 新しい行事「ボーリング大会」 11月



★利用者さんのリクエストにより今年度の新企画になりました。

みなさん、フォームが決まりました。

「また仕事頑張るぞ～」と気合が入りました。

<トピックス④> 「大村に移転したあゆみの家」での新しいお仕事



(中庭・花壇・植木の美化管理)



(自動販売機の商品管理)

★週1回、2時間の作業を契約しました。

まだまだ手探り状態ですが利用者さんには、好評な作業となりました。

「次はいつ担当日かな？」

・新しい挑戦は、ワクワク・ドキドキでもやりがいや達成感が感じられたら利用者さんも職員も幸せです。
(サービス管理責任者 門脇直子)

法人事務局からのお知らせ

昨年八月にあゆみの家が大村市内に移転し、その後旧あゆみの家の解体に向けて準備をしております。園内の設備・器具備品・電気製品等の取り外し等さまざまなものを片づけております。予定として来年度六月以降に取崩作業が出来る予定です。又職員寮を使用する方が激減したことから、昭和四十九年に建設されたエリザベト寮も老朽化の為時期を一緒に解体を実施することになりましたことをお知らせいたします。

エリザベト寮を使用した当初の職員は、ほぼ退職されておられることと思います。現在エリザベト寮内部も器具備品等の片付けもほぼ終わり、ガランとした状態となっております。

今年であゆみの家及びエリザベト寮の建築年月は、約四十五年の経過となります。老朽化の進む中であゆみの家職員の皆様方は今まで大変辛抱強く不自由な建物を大切に使用しておられたことに事務局一同感謝いたしております。

又新しい取り組みとして、去る十二月末には、法人事務局の事務所内が大きく変わりました。二室のようになっていた部屋が真ん中の仕切りだった書類棚をグリーンと後

ろに下げて大きな一つの部屋といたしました。女性群五人と一緒に仕事が出来るような部屋になったのです。少しずつではありますが、事務局員一丸となってみさかえの園全体の為に、事務の統一化を図ることを目指して頑張っております。



旧あゆみの家玄関



法人事務室内



エリザベト寮

各施設の住所

ホームページ

<http://www.misakae.or.jp/>

○社会福祉法人 聖家族会 法人事務局

☎859-0167 ☎0957-34-4520 Fax 0957-34-4521

長崎県諫早市小長井町遠竹2727-3

○みさかえの園第二めぐみの家

長崎県諫早市小長井町遠竹2727-10

☎0957-34-3112 Fax 34-2044

○みさかえの園のぞみの家

長崎県諫早市小長井町遠竹2727-1

☎0957-34-3114 Fax 34-3612

○諫早こどもデイサービスわくわく広場

長崎県諫早市長田町1470

☎0957-20-4120 Fax 20-4121

○みさかえの園総合発達医療福祉センターむつみの家

○みさかえの園児童発達支援センター

長崎県諫早市小長井町牧570-1

☎0957-34-3113 Fax 34-3526

○みさかえの園あゆみの家

長崎県大村市久原二丁目1346-1

☎0957-27-3115 Fax 46-3453

○ワークスペースあん就労継続支援B型事業所

長崎県諫早市小長井町遠竹2727-1

☎・Fax 0957-34-2371

○みさかえの園サテライトセンター

☎859-0121 長崎県諫早市高来町泉196-1

☎0957-32-2535 Fax 32-2536

・相談支援事業所スマイルサポート

・居宅介護事業所みさかえヘルパステーションひびき

・生活介護事業所デイスペースあん

・共同生活援助事業所グループホームりん